

みなとのまち 四日市

今も昔も四日市に欠かせない「港」の存在。港は、四日市の発展にどのように関わり、どんな役割を担ってきたのでしょうか。今回は、四日市の港の歴史や今を知る地域資料を紹介します。

※地域資料には、一部貸出できないものがあります

四日市港全般を知る

資料名	著者・出版社	発行年	分類番号
四日市港ができるまで	石原佳樹/著, 文芸社	2023	L/683//23
よっかいち港ストーリー I～VI (『商工春秋』No.806-808, 810-812)	四日市商工会議所/発行	2021	L/330//21
➡ 江戸期から現在までの港を特集。これまでの港とこれからの港の両方を知ることができる			
よっかいちai 160号 特集:四日市港	よっかいちai編集室/編集, 中広	2022	L/051//22
みなとトリビア (『中日新聞 北勢版』連載)	2015.6～2016.3		新聞
広報よっかいち 令和元年8月上旬号	四日市市役所広報マーケティング課/編集・発行	2019	広報
四日市もっと知り隊検定公式テキスト	四日市もっと知り隊検定実行委員会/編集	2013	L/223//13
東海の産業遺産を歩く	安部順一/著, 風媒社	2013	L/602//13
新視点三重県の歴史	毎日新聞社津支局/編, 山川出版社	2013	L/201//13
発見!三重の歴史 続	三重県史編さんグループ/著, 新人物往来社	2008	L/201//09
発見!三重の歴史		2006	L/201//06
みなとの偉人たち	みなとの偉人研究会/著, ウェイツ	2008	L/683//09
四日市港開港百年史	四日市港管理組合/編集・発行	2000	L/683//
➡ 大正、昭和、平成の港の平面図が付録されており、港の形がどう変化していったのかを知ることができる			
古図面発掘 デ・レーケの四日市港築港計画 (『泗水 16』)	秦昌弘/著 (四日市市立図書館/編集・発行)	1998	L/709//16
海と港の博物館	四日市市立博物館/編集・発行	1999	L/683//
近代四日市の幕開け		1997	L/282//
四日市市立博物館常設展示案内		1994	L/223//03
四日市港のあゆみ	四日市港管理組合/編集・発行	1987	L/68//
躍進 四日市	四日市大博覧会/編	1936	L/60//36
四日市港史	四日市市教育会/編	1936	L/68/36
中部日本四日市港	四日市商工会議所/発行	1930	L/68//

画や写真で知る港の様子や移り変わり

資料名	著者・出版社	発行年	分類番号
画で見る四日市港の歩み	四日市市立博物館/編集	2020	L/683//20
空カラ四日市	四日市市立博物館/編集	2019	L/223//19
四日市市の今昔	北野保/監修 樹林舎	2017	L/223//17
写された四日市	四日市市立博物館/編集	2002	L/223//02

地域資料室には、四日市港に関する図書だけでなく、「四日市散策マップ 海岸めぐり編」(四日市観光協会/発行)や「四日市旧港 まちあるきMAP」(四日市港まちあるき実行委員会/発行)などのパンフレットや、四日市港について特集された「広報よっかいち」などもあります。詳しくは、職員までおたずねください。

うらに続きます →→→



「いみなとのまち 四日市」

海運・物流の歴史を知る

各地の港から港や運ばれたものや廻船の資料からも、港の歴史を知ることができます。

資料名	著者・出版社	発行年	分類番号
知多半島の歴史と現在 No.6、12	日本福祉大学知多半島総合研究所/編	〔2025〕	L/683//
知多半島の歴史と現在20、21、23、26、28、29			
瀧田家の廻船文書 I、II、III	日本福祉大学知多半島総合研究所/編集、 とこなめ陶の森	〔2022〕	L/683//
蘭字 知られざる輸出茶ラベルの世界	齋田茶文化振興財団齋田記念館/編集・発行	2020	L/675//20
輸出陶磁器と名古屋港	末吉順治/著, 中日出版	2020	L/573//20
三重県茶業史	高瀬孝二/編纂, 三重県茶業会議所	2009	L/619//09
近世の地域経済と商品流通	落合功/著, 岩田書院	2007	L/683//22
伊勢湾海運・流通史の研究	村瀬正章/著, 法政大学出版局	2004	L/683//04



港とつながる陸上交通

港の物流を支える重要な役割を担っている貨物鉄道に関する資料からも四日市港の姿を知ることができます。

資料名	著者・出版社	発行年	分類番号
まるごと東海の貨物列車	徳田耕一/著, 河出書房新社	2025	L/686//25
貨物列車探究読本	貨物ジャーナル/著, 河出書房新社	2025	L/686//25
貨物列車マニアックス	南田裕介/著, カンゼン	2023	L/686//24
日本珍景踏切 決定版	伊藤博康/著, 創元社	2020	L/686//20
鉄道ファン 第56巻第3号(2016年3月号)	交友社	2016	L/686//16
➡ 四日市臨港線とともに、現役日本最古の「末広橋梁」についても図面や写真付きで書かれている。			
港湾と鉄道との関係調書 第2輯	鉄道省運輸局/編, 日本経済評論社	2003	L/683//03

港の今とこれからを知る

定期的に発行されている概要、統計資料、計画などからは、現在とこれからの四日市港の姿を知ることができます。

『四日市港港湾計画書』 / 『四日市港戦略計画』 / 『四日市港長期構想』 / 『四日市港統計年報』
 『PORT OF YOKKAICHI』 / 『四日市港要覧』（いずれも 四日市港管理組合）
 『四日市港 貿易概況(速報)』（名古屋税関 四日市税関支署）

港にまつわるこんな調べもの、ありました

Q.現在の稲葉三右衛門像について知りたい。2代目と聞いたので、初代のこともあわせて知りたい。

初代について▶ 『四日市市史(S5)』 / 『よっかいち歴史浪漫紀行』 / 『躍進四日市』

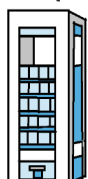
現在の像について▶ 『商工春秋 No. 844』 / 『四日市市史 19巻』

両方について▶ 『四日市港ができるまで』 / 『四日市市史(S38)』



Q.昔あったオーストラリア記念館について知りたい（1970年開催の大阪万博から移設され、2014年に解体された）

▶ 『四日市港開港百年史』 / 『日本万博全史』（夫馬信一/著, 左右社）【L683】



展望展示室「うみてらす14」にも行ってみよう 四日市港ポートビルにある展望展示室「うみてらす14」。四日市港の歴史や役割を学ぶことのできる展示があり、14階の高さから四日市港の様子を見ることがもできます。

※詳しくは「うみてらす14」のWEBサイトをご覧ください。 <https://www.yokkaichi-port.or.jp/ut14/index.html>

〔基本情報〕 開館時間:10:00-17:00、土日祝は21:00まで 休館日:水曜日(祝日除く)、料金:一般310円、中学生以下無料

四日市市立図書館 〒510-0821 四日市市久保田一丁目2番42号 TEL059-352-5108 Fax059-352-9897
 ホームページ <https://www.yokkaichi-lib.jp/>